

図書館年報

令和 6 年度

(2024 年度)



京丹波町図書館

目次

1	京丹波町の概要.....	3
2	図書館の概要.....	5
	(1) 運営方針.....	5
	(2) 沿革.....	5
	(3) 歴代館長.....	7
	(4) 図書館キャラクター.....	7
	(5) 施設の概要.....	8
3	利用状況.....	9
	(1) 図書館利用者の状況.....	9
	(2) 貸出冊数の状況.....	10
	(3) 団体貸出状況.....	11
4	資料の所蔵状況.....	12
	(1) 分類別蔵書冊数.....	12
	(2) 令和6年度の受入・除籍冊数.....	13
	(3) 蔵書点検結果による不明本冊数.....	13
	(4) 購入新聞・雑誌一覧.....	13
	(5) 雑誌スポンサー一覧（順不同、敬称略）.....	15
5	登録者数.....	16
	(1) 総数（人）.....	16
	(2) 年代別登録者数（人）.....	16
	(3) 地区別登録者数（人）.....	16
6	相互貸借.....	17
	(1) 京都府図書館総合目録ネットワークによる相互貸借状況（冊）.....	17
7	事業.....	17
	(1) 主要なイベント等.....	17
	(2) 移動図書館車めばえ号.....	19
	i. 定期巡回先.....	19
	ii. 不定期訪問先.....	20
	(3) 各種連携（めばえ号での訪問は一部再掲）.....	21
	i. 学校・こども園.....	21
	ii. 役場他部署・他団体等連携.....	22
	(4) （参考）令和6年度実施イベント一覧（めばえ号、連携、学校等除く）.....	22
8	京丹波町図書館協議会（令和5年4月1日発足）.....	25
	(1) 委員名簿（敬称略）.....	25
	(2) 活動報告.....	25
9	各種指標.....	26

1 0	利用案内.....	26
1 1	資料.....	27
(1)	京丹波町図書館条例.....	27
(2)	京丹波町図書館管理運営規則.....	28
(3)	京丹波町図書館運営方針.....	31
(4)	京丹波町図書館事業計画.....	33
(5)	新聞掲載記事.....	36

1 京丹波町の概要

【人 口】	12,254人	【面 積】	303.09 km ²
丹波地区	6,265人	耕地	16.50 km ²
瑞穂地区	3,585人	宅地	4.32 km ²
和知地区	2,404人	森林	250.42 km ²

【世帯数】	6,066世帯
丹波地区	3,008世帯
瑞穂地区	1,853世帯
和知地区	1,205世帯

(令和7年3月31日現在)

【町 章】



京丹波町の「丹」の文字、人とその輪を基本とし、住民の交流・連携により、豊かな自然や風土、歴史を大切に受け継ぎながら、未来に向けて飛躍・発展する「京丹波町」の姿を表しています。公募で寄せられた304点の中から選定し、京丹波町発足と同時に制定しました。

【町の花・木・鳥】

町の花・木・鳥の制定にあたっては、平成23年2月に京丹波町シンボル制定委員会を設置し、京丹波町にふさわしいシンボルの選定に向けて、4月から5月にかけて町の花・木・鳥を募集しました。141名の応募の中から、京丹波町シンボル制定委員会の慎重な検討を受けて、京丹波町が誕生して6周年目となる平成23年10月11日に制定しました。	
	(花：つつじ) 町内の野山をはじめ庭や道路沿いなどに多くの種類が彩る「つつじ」は、一輪ずつ咲く花ではなく、小さい花がまとまって咲く花です。京丹波町が助け合い美しい町へ発展する象徴として「つつじ」を町の花に制定しました。
	(木：イチョウ) 町内に名所が存在する「イチョウ」は、四季を通じて姿を変える美しさの中に、やさしさと力強さを感じます。京丹波町がまっすぐに長く栄える姿の象徴として「イチョウ」を町の木に制定しました。
	(鳥：うぐいす) 町内に多く生息し、春を告げる鳥として「ホーホケキョ」のさえずりは、多くの人々に親しまれています。京丹波町がいつまでも自然豊かな町であることの象徴として「うぐいす」を町の鳥に制定しました。

【町名●京丹波町】

「丹波」という名称は、古くからこの地域を含む広い範囲を指す名称として使用されてきた旧国名です。現在でも地域住民に親しまれ、愛着を持たれている名称であるとともに、農産物を中心とした産品等を通じ、全国的にも認知された名称です。

この「丹波」の名称に「京」を冠することにより、京都の持つイメージを併せ持つとともに、隣接する兵庫県の丹波地域と区別し、「京都の丹波地域に位置する町」であることを明確にすることとしたものです。

町名の決定にあたっては、一般公募に寄せられた1,963通、671種類の中から選ばれたものです。

【歴史・沿革】

この地域は、山陰街道沿いの交通の要衝として、また、山陰街道から若狭方面へ向かう街道筋として繁栄しました。特に須知地区は、宿場町を形成し、今でもその面影を伝える古い街並みが残されています。

明治22年の町村制施行時には、須知村、竹野村、高原村、檜山村、梅田村、三ノ宮村、質美村、上和知村及び下和知村の9村がありました。これらの村は、地形・産業・経済の状況も大同小異で、人情や風俗もよく似ており、地理的な一体性から人の交流を中心に古くから親密な関係を保っていました。

明治34年に須知村が須知町となり、昭和26年には須知町が竹野村を編入、また、檜山村、梅田村、三ノ宮村及び質美村が合併して瑞穂村が誕生しました。

昭和30年には、須知町と高原村が合併して丹波町が、上和知村と下和知村が合併して和知町が誕生しました。また、同年、瑞穂村は町制を施行し瑞穂町となりました。

丹波町・瑞穂町・和知町となって50年が経過した平成17年10月11日、3町が合併し、京丹波町が誕生しました。



2 図書館の概要

(1) 運営方針

【基本理念】

学びを支え、未来をひらく、みんなに身近な「どこでも図書館」

【基本的運営方針】

- (1) いつでも、どこでも、だれでも利用できる仕組み作りに努めます。
- (2) 子どもをはじめ、すべての人に読書の楽しみを広げる活動を行います。
- (3) 読書活動を推進するために、学校、地域、その他外部組織と積極的に連携します。
- (4) 地域の課題解決を支える拠点として、町民のニーズに対応した情報を発信します。
- (5) 地域の交流拠点として、人と本、人と情報、人と人の出会いを支援します。
- (6) 地域の資料や情報を保存・発信し、町の未来を提案します。
- (7) 生涯学習の拠点として多様な資料・情報の収集、整理、保存および、他図書館との連携に努めます。

(2) 沿革

【図書館設立までのあゆみ】

京丹波町は平成17年に、丹波町、瑞穂町、和知町の3町が合併して誕生しました。3町ともに公共図書館はなく、公民館の図書室で地域の住民向けに貸本を行っていました。旧丹波町、旧和知町には、それぞれ公民館が1館ずつあり、旧瑞穂町には公民館が集落ごとに計4館あり、3町が合併してからは、合計6つの公民館図書室をそれぞれ独立した図書室として運営していました。

それぞれの公民館図書室の蔵書もそれぞれ異なる形式で管理していましたが、町内の図書室間で蔵書を相互貸借し、資料購入費を効率的に使えるようにするために、令和2年度に、全図書室の蔵書をオンライン化し、管理方法を統一しました。

蔵書のオンライン化と並行して、令和3年11月に開庁した新しい庁舎の一角に、図書コーナーが設置されることとなり、計7拠点となる図書拠点を公民館図書室職員全員で組織的に管理することが決まり、「京丹波町どこでも図書館構想」を掲げて「図書館サービス」の拡充を図ってまいりました。

【京丹波町図書館の沿革】

令和3年(2021)	3月	町内公民館図書室全蔵書のオンライン化
令和3年(2021)	4月	京丹波町どこでも図書館構想事業開始
令和3年(2021)	8月	月次職員会議開始
令和3年(2021)	10月	町広報誌「図書だより」紙面リニューアル
令和3年(2021)	11月	交流ラウンジ「こだち」図書コーナー開設 移動図書館車「めばえ号」(500冊積載)運用開始 めばえ号瑞穂地区巡回開始 蔵書検索サイト「ほんサーチ」開始 窓口配布「新刊情報誌」定期発行開始 図書館キャラクター「めばえちゃん」「わかばちゃん」誕生
令和4年(2022)	3月	移動図書館車「めばえ号」学校・こども園連携開始
令和4年(2022)	4月	乳幼児健診(前期・後期)との連携開始 子育て支援センターイベントとの連携開始
令和4年(2022)	5月	音読の会開始
令和4年(2022)	6月	作家今村翔吾講演会開催
令和4年(2022)	7月	和知公民館図書室リニューアル
令和4年(2022)	10月	イベント「絵本と音楽」第1弾(和楽器)開催
令和4年(2022)	11月	中央公民館図書室リニューアル
令和5年(2023)	4月	京丹波町図書館条例・運営規則の施行 京丹波町図書館開館 京丹波町図書館協議会発足 中央館でのコピーサービス開始 読書ボランティア勉強会開始 ちいさいこのおはなし会開始
令和5年(2023)	5月	開館記念イベント「絵本作家長谷川義史さん絵本ライブ」開催 梅田公民館図書室、三ノ宮公民館図書室、質美公民館図書室内での貸出終了に伴う「ありがとうイベント」開催
令和5年(2023)	7月	自習・自主学习支援教室「まなび座」開催 夏休みの自由研究支援イベント開催 イベント「チェロと朗読のゆうべ」開催
令和5年(2023)	8月	国立国会図書館関西館との連携開始 放課後児童クラブへのめばえ号定期貸出開始
令和5年(2023)	9月	中台サロンめばえ号定期貸出開始
令和5年(2023)	10月	第1回「しらべてガッテン!」作品募集 本のリサイクル市開催
令和5年(2023)	11月	社会福祉法人丹和会サポートハウス丹波高原荘および特別養護老人ホーム丹波高原荘めばえ号定期貸出開始

- 令和6年(2024) 1月 イベント「絵本と音楽」第2弾(バイオリン)開催
- 令和6年(2024) 4月 開館1周年イベント「みんなで作る本棚」開催
郷土紙芝居制作事業開始
みずほこども園めばえ号定期貸出開始
ロゴス神学院めばえ号定期貸出開始
読書ボランティア勉強会を読書ボランティア交流会に名称変更
こだち図書にYA(ヤングアダルト)企画展示常設開始
- 令和6年(2024) 5月 めばえ号瑞穂地区巡回終了
- 令和6年(2024) 6月 一般社団法人福祉施設協議会高齢者あんしんサポートハウス木蘭めばえ号定期貸出開始
NPO法人クローバー・サービス(デイサービス)めばえ号定期貸出開始
- 令和6年(2024) 7月 イベント「ジャズと朗読のゆうべ」開催
山村開発センターみずほ 幼児室に「えほんのへや」開設
山村開発センターみずほ正面玄関自動ドアの使用開始
- 令和6年(2024) 8月 瑞穂夕涼み会開館開始
図書館協議会委員・図書館職員と町長とのふれあい懇談会開催
- 令和6年(2024) 10月 「京丹波町図書館読書月間」開催(新書100冊企画展示等)
- 令和6年(2024) 12月 京丹波町図書館ホームページ全面リニューアル
- 令和7年(2025) 1月 丹波自然運動公園「いとまるシェ」への出店開始
中学校向け貸出セット「YONDEMI」瑞穂中学校へ貸出開始
- 令和7年(2025) 3月 郷土紙芝居お披露目イベント「郷土民話×紙芝居」開催

(3) 歴代館長

年 度	氏 名
令和5年度～	大塚 正広



絵本作家長谷川義史氏による
大塚館長のイラスト

(4) 図書館キャラクター



めばえちゃん



わかばちゃん

京丹波町どこでも図書館構想事業の中で、令和3年11月に誕生した京丹波町図書館オリジナルキャラクター。京丹波町の特産品である黒豆の妖精。京丹波町図書館の司書、湯浅真弓氏によりデザインされた。

(5) 施設の概要

京丹波町図書館中央館

住所 〒622-0214 京都府船井郡京丹波町蒲生野口3番地
(京丹波町中央公民館2階)

電話 0771-82-0255 Fax 0771-82-1717

延べ床面積 563 m²

蔵書冊数 26,665 冊

開館時間 火～土曜日 9:00～17:00

京丹波町図書館中央館出張所 サテライトこだち (通称 こだち図書)

住所 〒622-0292 京都府船井郡京丹波町蒲生蒲生野4番地1
(京丹波町役場本庁1階 交流ラウンジ「こだち」内)

電話 0771-82-3850

延べ床面積 300 m²

蔵書冊数 3,369 冊

開館時間 火・水・金曜日 9:00～19:00

木・土・日曜日 9:00～17:00

(日曜日のみ昼休み休館 12:00～13:00)

京丹波町図書館瑞穂分館

住所 〒622-0322 京都府船井郡京丹波町大朴乗次1番地
(山村開発センターみずほ1階)

電話 0771-88-0506

延べ床面積 63 m²

蔵書冊数 6,276 冊

開館時間 火～土曜日 9:00～17:00

(昼休み休館 12:00～13:00)

京丹波町図書館和知分館

住所 〒629-1121 京都府船井郡京丹波町本庄花ノ木1番地4
(和知ふれあいセンター1階)

電話 0771-84-2081

延べ床面積 76 m²

蔵書冊数 7,214 冊

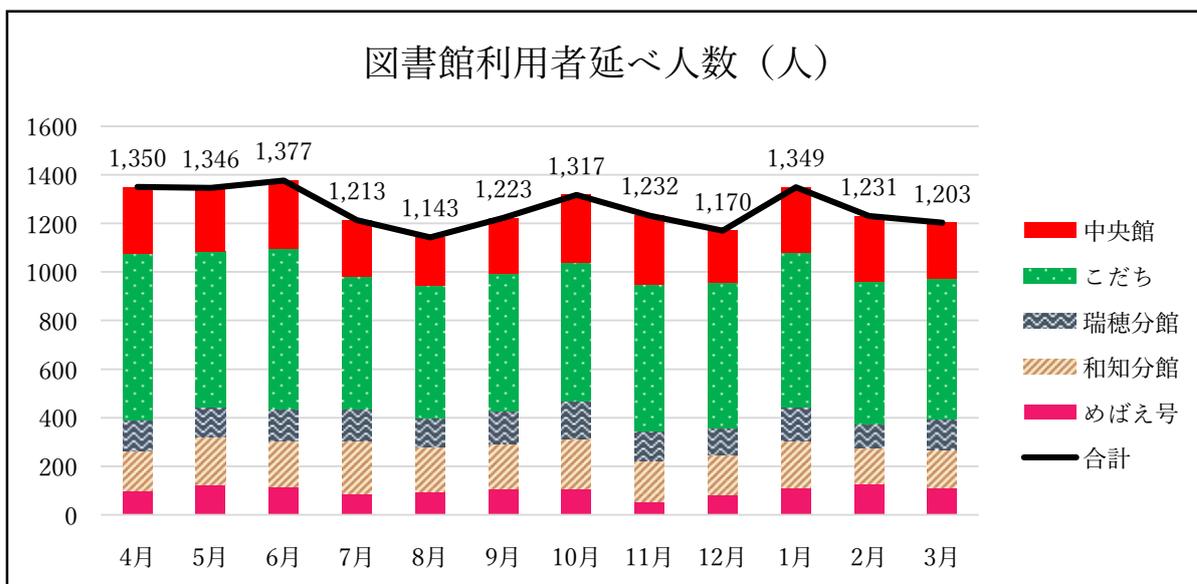
開館時間 火～土曜日 10:00～18:00

(昼休み休館 12:00～13:00)

3 利用状況

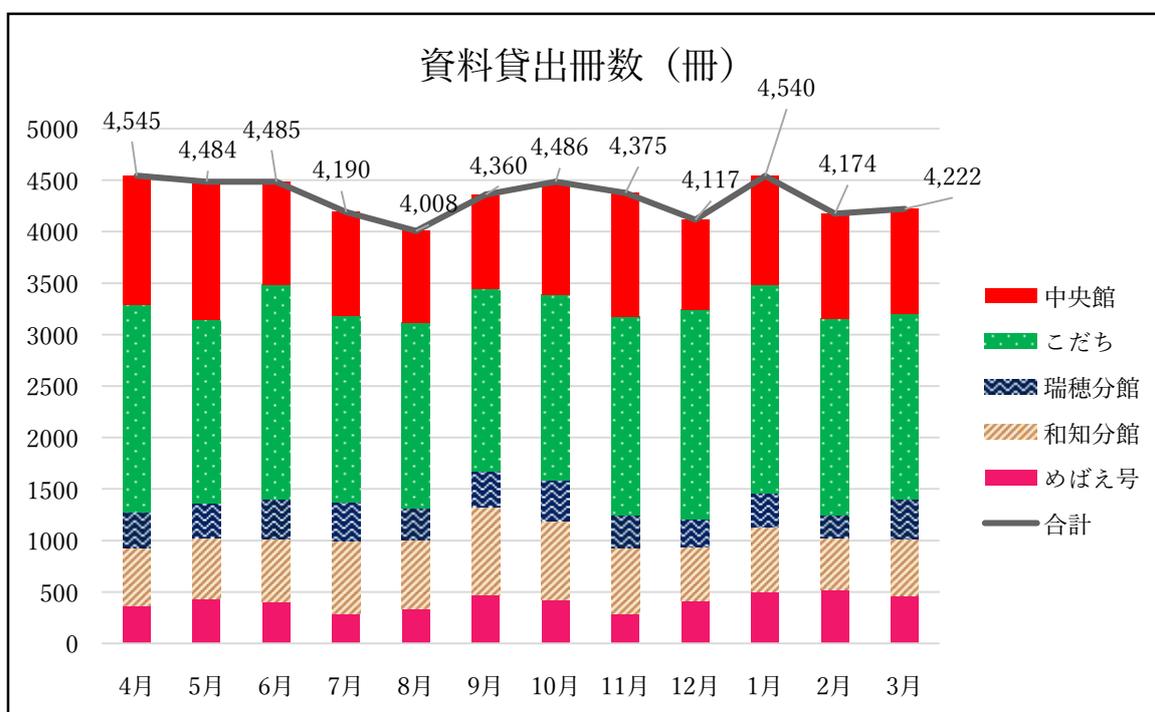
(1) 図書館利用者の状況

図書館利用者延べ人数（人）						
月	中央館	こだち	瑞穂分館	和知分館	めばえ号	合計
4月	274	684	129	165	98	1,350
5月	263	637	125	198	123	1,346
6月	283	657	132	188	117	1,377
7月	232	545	134	217	85	1,213
8月	201	545	118	186	93	1,143
9月	228	567	137	184	107	1,223
10月	280	568	155	207	107	1,317
11月	286	602	120	170	54	1,232
12月	216	596	109	167	82	1,170
1月	269	635	140	192	113	1,349
2月	271	586	97	150	127	1,231
3月	232	576	127	155	113	1,203
合計	3,035	7,198	1,523	2,179	1,219	15,154



(2) 貸出冊数の状況

資料貸出冊数（冊）						
	中央館	こだち	瑞穂分館	和知分館	めばえ号	合計
4月	1,253	2,020	344	560	368	4,545
5月	1,342	1,775	347	589	431	4,484
6月	1,003	2,081	391	604	406	4,485
7月	1,011	1,803	377	713	286	4,190
8月	893	1,798	315	665	337	4,008
9月	914	1,773	348	850	475	4,360
10月	1,095	1,806	397	766	422	4,486
11月	1,203	1,928	320	639	285	4,375
12月	879	2,029	274	526	409	4,117
1月	1,060	2,017	337	623	503	4,540
2月	1,024	1,905	220	503	522	4,174
3月	1,022	1,800	389	553	458	4,222
合計	12,699	22,735	4,059	7,591	4,902	51,986



(3) 団体貸出状況

団体名	貸出冊数 (絵本)	貸出冊数 (紙芝居)	貸出冊数 (児童図書)	貸出冊数 (一般図書)	貸出冊数 (雑誌)	合計
たんばこども園	277	1	100	6	2	386
みずほこども園	39	0	16	2	0	57
わちこども園	97	0	33	1	0	131
丹波ひかり小学校	23	0	42	3	2	70
竹野小学校	156	0	274	22	4	456
下山小学校	30	0	50	16	0	96
瑞穂小学校	199	8	339	203	7	756
和知小学校	104	0	286	11	9	410
蒲生野中学校	0	0	16	6	0	22
瑞穂中学校	9	0	59	115	2	185
和知中学校	0	0	9	22	0	31
のびのび児童クラブ1組	260	0	286	34	12	592
のびのび1組分室ひまわり	73	0	214	13	12	312
のびのび児童クラブ2組	150	0	248	52	3	453
のびのび児童クラブ3組	93	0	275	64	3	435
京丹波町子育て支援センター	128	0	0	0	5	133
京丹波町ファミリー・サポート・センター	8	0	4	3	0	15
クローバーデイサービスセンター	5	0	7	48	9	69
丹波高原荘	0	0	0	4	0	4
京丹波町社会福祉協議会	4	0	3	24	0	31
京丹波町社会福祉協議会和知支所	0	0	5	10	0	15
きいろいばけつ	210	10	101	33	1	355
蒲生野もこもこ文庫	9	2	7	3	0	21
図書館ボランティア	1	0	0	0	0	1
合計	1,875	21	2,374	695	71	5,036

4 資料の所蔵状況

(1) 分類別蔵書冊数

分類		中央館	こだち図書	瑞穂分館	和知分館	めばえ号	合計	
一般書	0	総記	269	127	49	25	4	474
	1	哲学	1,159	32	81	117	3	1,392
	2	歴史地理	1,600	71	103	234	8	2,016
	3	社会科学	1,594	210	185	274	16	2,279
	4	自然科学	868	140	138	183	8	1,337
	5	工学	1,012	147	185	219	33	1,596
	6	産業	473	59	58	89	7	686
	7	芸術	1,662	128	383	180	20	2,373
	8	言語	274	20	30	28	3	355
	9	文学	5,686	304	2,138	2,200	49	10,377
	F	日本の小説	1,047	268	681	526	74	2,596
		分類未整備	1,169	49	17	77	2	1,314
		一般書合計	16,813	1,555	4,048	4,152	227	26,795
	児童書	0	総記	106	10	27	20	4
1		哲学	65	6	13	28	4	116
2		歴史地理	355	28	42	62	8	495
3		社会科学	332	18	24	30	4	408
4		自然科学	733	88	152	191	39	1,203
5		工学	267	39	23	87	14	430
6		産業	195	10	16	28	4	253
7		芸術	332	56	77	41	8	514
8		言語	141	18	35	12	2	208
9		文学	2,188	35	417	344	27	3,011
F		日本の小説	659	95	47	189	81	1,071
E		絵本	2,151	458	1,107	1,624	252	5,592
C		紙芝居	130	20	132	179	0	461
		大型絵本	55	0	0	0	0	55
		分類未整備	1,728	20	10	48	0	1,806
	児童書合計	9,437	901	2,122	2,883	447	15,790	
雑誌合計		415	913	106	179	13	1,626	
資料総合計		26,665	3,369	6,276	7,214	687	44,211	
雑誌タイトル数(誌)		15	34	3	4	4	60	
新聞数(紙)		1	9	0	0	0	10	

(2) 令和6年度の受入・除籍冊数

受入	購入	寄贈	その他	受入合計
一般書	2,833	519	0	3,352
児童書	1,094	25	1	1,120
その他	535	81	4	620
合計	4,462	625	5	5,092

除籍	紛失	汚・破損	蔵書不明	保存期限切れ	その他	払出合計
一般書	1	4	51	0	281	337
児童書	0	0	13	0	181	194
その他	1	20	15	0	16	52
合計	2	24	79	0	478	583

(3) 蔵書点検結果による不明本冊数

	一般書	児童書	紙芝居	絵本	郷土資料	参考図書	雑誌	合計
令和6年度	0	0	0	0	0	0	0	0

(4) 購入新聞・雑誌一覧

新聞名		中央	こだち
1	京都新聞	○	○
2	朝日小学生新聞		○
3	朝日中高生新聞		○
4	読売 KODOMO 新聞		○
5	朝日新聞		○
6	毎日新聞		○
7	日本経済新聞		○
8	The Japan Times Alpha (ジヤパンタイムズ アルファ)		○
合計		1	8

○：所蔵

	雑誌名	中央	こだち	瑞穂	和知
1	AERA with Kids		●		
2	Casa BRUTUS		○		
3	ESSE	○			
4	kodomoe コドモエ		○		
5	LDK		○		
6	MAMOR マモル		●		
7	MOE モエ		●		
8	Newton		○		
9	NHK きょうの健康		●		
10	NHK きょうの料理				○
11	NHK きょうの料理ビギナーズ			○	
12	Pen		○		
13	PHP	○			
14	PRESIDENT プレジデント		○		
15	Tarzan ターザン		○		
16	明日の友			○	
17	田舎暮らしの本		○		
18	うかたま		○		
19	美しいキモノ		○		
20	オレンジページ		●		
21	かがくのとも	○			
22	家庭画報		○		
23	暮らしの手帖		○		
24	健康 365		●		
25	現代農業		○		
26	子供の科学	○			
27	こどものとも	○			
28	こどものとも 0.1.2	○			
29	こどものとも 年少版	○			
30	こどものとも 年中向き	○			
31	週刊文春		○		
32	趣味の園芸		●		
33	趣味の園芸 やさいの時間		○		
34	素敵なあの人		○		
35	すてきにハンドメイド	○			
36	たくさんのふしぎ	○			

雑誌名		中央	こだち	瑞穂	和知
37	旅の手帖		○		
38	ちいさなかがくのとも	○			
39	月刊京都		●		
40	鉄道ジャーナル				○
41	天然生活		●		
42	ナショナルジオグラフィック		○		
43	ニュースがわかる		○		
44	文藝春秋	○			
45	野菜だより				○
46	ランナーズ		●		
47	リンネル		○		
48	歴史人	○			
49	レクリエ		○		
50	レタスクラブ	○			
51	和楽		○		
52	ベースボールマガジン		○		
53	&Premium (アンドプレミアム)		○		
54	ダ・ヴィンチ				○
	合計	14	34	2	4

○：購入雑誌 ●：スポンサー提供雑誌

(5) 雑誌スポンサー一覧 (順不同、敬称略)

スポンサー様名	雑誌名
絵本ちゃん	MOE モエ
株式会社アールビーズ	ランナーズ
株式会社いづつ屋	オレンジページ
京丹波学舎	AERA with Kids
こだちカフェ	月刊京都
京丹波町住民課	MAMOR マモル
たにやま鍼灸整骨院	健康 365
林鍼灸接骨院	NHK きょうの健康
ホームセンタージュンテンドー京丹波店	趣味の園芸
有限会社みずほファーム	天然生活

5 登録者数

(1) 総数 (人)

区分	男性	女性	合計	備考
一般	1,389	2,838	4,227	19歳以上
学生	105	126	231	13歳から18歳
児童	187	201	388	12歳以下
合計	1,681	3,165	4,846	

(2) 年代別登録者数 (人)

種別	6歳未満	7～12歳	13～15歳	16～18歳	19～22歳
女性	76	125	62	64	164
男性	76	111	44	61	143
合計	152	236	106	125	307

種別	23～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計
女性	375	501	333	420	1,045	3,165
男性	280	235	114	147	470	1,681
合計	655	736	447	567	1,515	4,846

(3) 地区別登録者数 (人)

地区別	丹波地区	瑞穂地区	和知地区	町外	総計
女性	1,905	515	658	87	3,165
男性	1,021	279	305	76	1,681
合計	2,926	794	963	163	4,846

6 相互貸借

(1) 京都府図書館総合目録ネットワークによる相互貸借状況（冊）

館名	借受冊数	貸出冊数
中央館	2,137	349
こだち図書	680	0
瑞穂分館	136	222
和知分館	385	68
合計	3,338	639

7 事業

(1) 主要なイベント等

ちいさいこのおはなし会 場所：中央館 木育ひろば 実施回数：12回（毎月第4水曜日） 参加者：74名（延べ人数） 内容：乳幼児向けの手遊び、紙芝居、絵本の読み聞かせ 備考：7月24日、8月28日はALTによる英語絵本の読み聞かせを実施
よっちゃんの紙芝居 場所（回数）：中央館（1）、瑞穂分館（2）、和知分館（1） 参加者：78名（延べ人数） 内容：創作紙芝居師小川よしのりさんによる紙芝居の上演
音読の会 場所：中央館 学習室 実施回数：6回（奇数月第3水曜日） 参加者：34名（延べ人数） 内容：参加者で声をあわせて詩や文章を朗読する。脳トレ手遊びなども実施。

ボランティア交流会

場所：中央館 学習室

実施回数：4回（4月、6月、10月、12月の第3水曜日）

参加者：18名（延べ人数）

内容：読書ボランティアを対象とした交流会。

夏休み 自習・自主学習支援教室「まなび座」

場所：中央館・瑞穂分館・和知分館

実施回数：各4回+1回 合計13回（瑞穂分館で1日追加開催）

参加者：55名（延べ人数）

内容：小・中・高校生向けに、夏休みの課題や自習を支援。

参考）参加者の内訳

内訳	小学生	中学生	高校生	計
参加人数	40	13	2	55

夏休み 自由研究支援イベント

場所：中央館

実施回数：3回

参加者：8名（延べ人数）

内容：小学生向け、自由研究と工作の支援。取り組み方のミニ講座あり。

セカンドブック事業

場所：町内各小学校

対象者：町内の小学1年生49名

内容：小学1年生向けに、ブックリストの中から選んだ本を1冊贈呈する。贈呈時には、日本語の絵本の読み聞かせに加えて、ALTが扮したサンタからの英語絵本の読み聞かせも実施。

京丹波町図書館調べ学習コンクール「しらべてガッテン！」

募集期間：10月1日～11月15日

応募数：104点

【全点展示】

場所：役場 小会議室

期間：2月21日（金）～24日（月・祝）

【表彰式】

日時：2月23日（日） 午前10時30分開会

内容：京丹波町図書館独自の調べ学習コンクール

図書館開館1周年記念古典の日特別講演会「方丈記を読み解く」
日時：11月8日（日） 場所：役場 大会議室 講師：京都産業大学文化部教授 日本文化研究所所長 小林一彦先生 参加者：80名 内容：日本最古の写本が京丹波町内で発見された、鴨長明による「方丈記」の内容を、古典研究の第一人者である小林先生に読み解いていただく講演会。

郷土紙芝居×音楽
日時：3月20日（木・祝） 場所：和知ふれあいセンター アリーナ 出演者：創作紙芝居師小川よしのり氏（紙芝居）、鶴澤友球氏（義太夫節）、 凜氏（和太鼓・篠笛）、侘嶋草賢氏（音響）、和知太鼓保存会 参加者数：210名 内容：郷土紙芝居「夏艸丹ノ国嘯」と「尾長野の椿さん」の上演。

(2) 移動図書館車めばえ号

i. 定期巡回先

定期巡回先	巡回頻度	訪問回数 (年間)	利用者数 (延べ)	貸出冊数 (年間)
丹波高原荘	月2回	22	229	407
木蘭	月2回	20	89	151
ロゴス神学院	月2回	19	128	500
中台サロン	月1回	12	72	169
クローバーサービス	月1回	12	130	67
丹波自然運動公園「いとまるシェ」	月1回	1	2	3
みずほこども園	月1回	12	459	1,275
放課後児童クラブのびのび1組	月1回	12	604	708
放課後児童クラブのびのび2組	月1回	12	424	443
放課後児童クラブのびのび3組	月1回	12	337	415
子育て支援センター	月1回	8	191	211
合計		134	2,474	4,138

ii. 不定期訪問先

めばえ号訪問先	訪問日	参加 人数	大人	子供	貸出 冊数
瑞穂青空おはなし会	5月18日	4	2	2	5
下山小学校	5月31日	20	3	17	47
たんばこども園	6月11日	36	4	32	32
たんばこども園	6月26日	85	10	75	82
下山小学校6年生	6月26日	5	0	5	29
たんばこども園	7月3日	58	29	29	29
わちこども園	7月10日	31	6	25	33
和知社協ニコニコ	9月19日	30	30	0	46
和音祭	10月6日	40	20	20	7
たんばこども園	10月9日	61	10	51	56
京丹波マルシェ	10月20日	-	-	-	4
たんばこども園	10月23日	29	5	24	25
上和知中部村祭り	11月4日	40	15	25	13
瑞穂小学校1・2年生	11月22日	37	6	31	32
あそび広場もこもこ	11月30日	52	12	40	14
瑞穂小学校5・6年生	12月5日	52	4	48	49
瑞穂小学校3・4年生	12月11日	33	4	29	34
下山小学校1～3年生	12月13日	22	5	17	45
わちこども園	12月18日	32	4	28	32
たんばこども園	1月22日	60	9	51	57
たんばこども園	2月6日	27	4	23	24
下山小学校	2月14日	20	3	17	61
三ノ宮サロン	2月15日	20	19	1	24
わちこども園	2月18日	32	4	28	41
合計		370	114	256	366

(3) 各種連携（めばえ号での訪問は一部再掲）

i. 学校・こども園

	日時	園・学校	実施内容	参加人数	大人	子供	貸出冊数
こども園	5月14日	たんばこども園	中央館来館	35	4	31	31
	6月11日		めばえ号訪問	36	4	32	32
	6月26日		めばえ号訪問	85	10	75	82
	7月3日		めばえ号訪問	58	29	29	29
	10月9日		めばえ号訪問	61	10	51	56
	10月23日		めばえ号訪問	29	5	24	25
	1月22日		めばえ号訪問	60	9	51	57
	2月6日		めばえ号訪問	27	4	23	24
	4月23日	みずほこども園	めばえ号訪問	86	43	43	79
	5月14日		めばえ号訪問	31	6	25	102
	6月11日		めばえ号訪問	34	7	27	110
	7月9日		めばえ号訪問	30	5	25	91
	8月6日		めばえ号訪問	21	6	15	76
	9月17日		めばえ号訪問	29	5	24	93
	10月15日		めばえ号訪問	36	8	28	122
	10月24日		瑞穂分館来館	9	3	6	0
	11月12日		めばえ号訪問	36	7	29	124
	12月10日		めばえ号訪問	37	7	30	119
	1月21日		めばえ号訪問	54	17	37	132
	2月18日	めばえ号訪問	31	6	25	122	
	3月4日	めばえ号訪問	34	6	28	105	
	5月16日	わちこども園	和知分館来館	20	4	16	25
	7月10日		めばえ号訪問	31	6	25	33
	12月18日		めばえ号訪問	32	4	28	32
2月18日	めばえ号訪問		32	4	28	41	
こども園合計				974	219	755	1,742
小学校	5月31日	下山小学校	めばえ号訪問	20	3	17	47
	6月26日		めばえ号訪問	5		5	29
	12月13日		めばえ号訪問	22	5	17	45
	2月14日		めばえ号訪問	20	3	17	61
	11月22日	瑞穂小学校	めばえ号訪問	37	6	31	32
	12月5日		めばえ号訪問	52	4	48	49
	12月11日		めばえ号訪問	33	4	29	34
小学校合計				189	25	164	297
中学校	7月11日	蒲生野中学校	中央館来館	43	3	40	25
	中学校合計				43	3	40
学校・こども園合計				1,206	247	959	2,064

ii. 役場他部署・他団体等連携

連番	対象	日時	連携先	実施場所	参加人数	大人	子供	貸出冊数
1	幼児	4月16日	支援センター	子育て支援センター	27	13	14	21
2	幼児	4月23日	乳児健診	保健福祉センター	12	6	6	3
3	幼児	5月28日	乳児健診	保健福祉センター	16	9	7	7
4	幼児	6月28日	支援センター	子育て支援センター	31	16	15	15
5	幼児	7月16日	支援センター	子育て支援センター	20	11	9	14
6	幼児	7月23日	乳児健診	保健福祉センター	24	13	11	19
7	幼児	9月10日	支援センター	子育て支援センター	25	12	13	53
8	幼児	9月17日	乳児健診	保健福祉センター	23	12	11	10
9	幼児	11月12日	支援センター	子育て支援センター	11	4	7	32
10	幼児	11月12日	乳児健診	保健福祉センター	13	7	6	11
11	幼児	12月13日	支援センター	子育て支援センター	30	14	16	16
12	幼児	1月7日	乳児健診	保健福祉センター	11	6	5	6
13	幼児	1月31日	支援センター	子育て支援センター	7	5	2	28
14	幼児	2月4日	乳児健診	保健福祉センター	0			
15	幼児	3月4日	乳児健診	保健福祉センター	2	2		3
16	幼児	3月18日	支援センター	子育て支援センター	40	18	22	32
17	大人	8月17日	瑞穂夕涼み会	瑞穂分館	30	10	20	4
18	大人	11月26日	更生保護女性会	中央公民館	-	-	-	-
19	大人	12月9日	町教頭会	中央館	8	8	-	-
合計					330	166	164	274

(4) (参考) 令和6年度実施イベント一覧 (めばえ号、連携、学校等除く)

連番	対象	日時	実施内容	実施場所	参加人数	大人	子供	貸出冊数
1	幼児	4月24日	ちいさいこのおはなしかい	中央館	7	3	4	2
2	幼児	5月22日	ちいさいこのおはなしかい	中央館	3	2	1	1
3	幼児	6月26日	ちいさいこのおはなしかい	中央館	9	4	5	
4	幼児	7月24日	ちいさいこのおはなしかい	中央館	26	12	14	37

連番	対象	日時	実施内容	実施場所	参加人数	大人	子供	貸出冊数
5	幼児	8月28日	ちいさいこのおはなしかい	中央館	6	3	3	0
6	幼児	9月25日	ちいさいこのおはなしかい	中央館	4	2	2	6
7	幼児	10月23日	ちいさいこのおはなしかい	中央館	3	1	2	1
8	幼児	11月26日	ちいさいこのおはなしかい	中央館	0			0
9	幼児	12月25日	ちいさいこのおはなしかい	中央館	9	4	5	
10	幼児	1月22日	ちいさいこのおはなしかい	中央館	2	1	1	
11	幼児	2月26日	ちいさいこのおはなしかい	中央館	0			
12	幼児	3月26日	ちいさいこのおはなしかい	中央館	5	2	3	20
幼児向け合計					74	34	40	67
連番	対象	日時	実施内容	実施場所	参加人数	大人	子供	貸出冊数
13	こども	4月20日	科学工作万華鏡	瑞穂分館	5	2	3	13
14	こども	7月13日	自由研究	中央館	0		0	0
15	こども	7月20日	まなび座和知	和知分館	4		4	
16	こども	7月20日	タイル張りコースター	和知分館	50	25	25	14
17	こども	7月23日	まなび座瑞穂	瑞穂分館	0		0	
18	こども	7月24日	まなび座中央	中央館	1		1	
19	こども	7月24日	まなび座瑞穂（※臨時）	瑞穂分館			8	
20	こども	7月26日	まなび座中央	中央館	3		3	
21	こども	7月27日	自由研究	中央館	6		6	10
22	こども	7月30日	まなび座瑞穂	瑞穂分館	2		2	
23	こども	7月31日	まなび座和知	和知分館	2		2	
24	こども	8月7日	自由研究	中央館	2		2	0
25	こども	8月7日	まなび座中央	中央館	7		7	
26	こども	8月8日	まなび座瑞穂	瑞穂分館	2		2	
27	こども	8月9日	まなび座和知	和知分館	8		8	
28	こども	8月21日	まなび座瑞穂	瑞穂分館	15		15	
29	こども	8月27日	まなび座中央	中央館	1		1	
30	こども	8月28日	まなび座和知	和知分館	2		2	
31	こども	11月16日	和知紙ひこうき	和知分館	41	14	27	48
32	こども	12月7日	フラワーアレンジ	中央館	65	25	40	5
33	こども	12月14日	松ぼっくりクリスマスツリー	瑞穂分館	11	6	5	2
34	こども	12月21日	こだちのクリスマス	こだち図書	47	28	19	55
35	こども	2月22日	楽器工作	瑞穂分館	3	1	2	
こども向け合計					277	101	184	147

連番	対象	日時	実施内容	実施場所	参加 人数	貸出		冊数
						大人	子供	
36	大人	4月17日	ボランティア交流会	中央館	3	3		0
37	大人	5月15日	音読の会	中央館	6	6		7
38	大人	5月23日	和知四季のリース	和知分館	7	7		12
39	大人	6月13日	御朱印帳イベント	瑞穂分館	8	8		4
40	大人	6月19日	ボランティア交流会	中央館	10	9	1	3
41	大人	7月17日	音読の会	中央館	6	6		3
42	大人	9月18日	音読の会	中央館	6	6		1
43	大人	10月16日	ボランティア交流会	中央館	4	4		1
44	大人	11月9日	方丈記を読み解く	こだち図書	80	80		18
45	大人	11月14日	瑞穂大人の塗り絵	瑞穂分館	5	5		0
46	大人	11月20日	音読の会	中央館	5	5		2
47	大人	12月12日	マクラメ編み	和知分館	13	13		5
48	大人	12月18日	ボランティア交流会	中央館	1	1		1
49	大人	1月15日	音読の会	中央館	5	5		2
50	大人	2月15日	三ノ宮サロン	イベント会場	20	19	1	24
51	大人	2月20日	大人のおはなし会	和知分館	6	6		
52	大人	3月19日	音読の会	中央館	6	6		2
大人向け合計					191	189	2	85
連番	対象	日時	実施内容	実施場所	参加 人数	大人	子供	貸出 冊数
53	全	5月11日	よっちゃんの紙芝居	瑞穂分館	23	17	6	17
54	全	6月15日	えほんのひろば	和知分館	10	3	7	22
55	全	7月13日	よっちゃんの紙芝居	瑞穂分館	22	13	9	6
56	全	7月26日	ジャズと朗読	こだち図書	140	125	15	28
57	全	9月14日	よっちゃんの紙芝居	和知分館	2	2		0
58	全	10月12日	えほんのひろば	和知分館	19	14	5	37
59	全	10月26日	よっちゃんの紙芝居	中央館	31	22	9	22
60	全	3月20日	郷土紙芝居	和知分館	210	200	10	
全世代向け合計					457	396	61	132
イベント合計（めばえ号、地域サロン等連携、学校等除く）					999	720	287	431

令和6年度全イベント総計 (他団体連携・めばえ号訪問含む)	参加 人数	大人	子供	貸出 冊数
	4,388人	1,570人	2,826人	5,721冊

8 京丹波町図書館協議会（令和5年4月1日発足）

(1) 委員名簿（敬称略）

定数10人以内 任期2年（令和5年4月1日～令和7年3月31日）

役職	氏名	備考
会長	藤本 英子	家庭教育関係者
副会長	竹中 成圓	学識経験者
委員	尾池 吉嗣	社会教育関係者
委員	北村 恵里子	学校教育関係者
委員	上畑 君代	学校教育関係者
委員	寺本 裕彦	学校教育関係者
委員	坂本 正義	学校教育関係者
委員	藤巻 靖子	家庭教育関係者
委員	西山 雅子	学識経験者

(2) 活動報告

◎第1回 開催日：令和6年9月19日（木）

場 所：京丹波町役場本庁 2階大会議室

内 容：1 定例会議

(1) 年間の活動報告・現状と課題

(2) 京丹波町図書館年報について

2 町長との懇談会

(1) 図書館についての意見交換

◎第2回 開催日：令和7年2月13日（木）

場 所：京丹波町中央公民館第1会議室

内 容：1 本年度の図書館事業報告

2 今後の活動計

3 図書館に関する報告事項

(1) 京丹波町図書館年報（報告）

(2) 図書館利用状況データ（報告）

(3) 京都府第5次子ども読書活動推進計画（進捗中間案報告）

9 各種指標

A 人口（令和7年3月31日現在）	12,254人	
B 登録者数	4,846人	
C 職員数	15人	(内会計年度任用14人) (内週5日勤務4人)
D 貸出冊数	51,986冊	
E 蔵書冊数	44,211冊	
F 年間購入冊数	4,462冊	
G 図書購入費	8,000千円	
H 図書館費	13,966千円	

指標	指標	参考
1 町民登録率 B/A =	40%	(69.1%)
2 町民1人当たり貸出冊数 D/A =	4.2冊	(4.5冊)
3 登録者1人当たり貸出冊数 D/B =	10.7冊	(6.5冊)
4 町民1人当たり蔵書冊数 E/A =	3.6冊	(8.8冊)
5 町民1人当たり年間購入冊数 F/A =	0.36冊	(0.21冊)
6 町民1人当たり図書購入費 G/A =	653円	(487円)
7 町民1人当たり図書館費 H/A =	1,140円	(1,945円)
8 蔵書回転率 D/E =	1.2回	(0.5回)

※参考欄（）内：人口15,000人未満の全国公共図書館373館の平均数値。利用統計『日本の図書館2023』（日本図書館協会刊）

10 利用案内

◎新規利用時に利用者登録が必要。

対象：町内在住・在勤・在学者

◎貸出冊数上限1人20冊。

◎貸出期間2週間（1回のみ延長可。延長期間2週間。※予約のある本は除く）

1 1 資料

(1) 京丹波町図書館条例

令和5年3月22日

条例第3号

(趣旨)

第1条 この条例は、図書館法（昭和25年法律第118号）第10条の規定に基づき、京丹波町図書館の設置に関し、必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 町民の教育と文化の発展に寄与するため、京丹波町図書館（以下「図書館」という。）を次のとおり設置する。

名称	位置
京丹波町図書館中央館	京丹波町蒲生野口38番地
京丹波町図書館中央館出張所 (サテライトこだち)	京丹波町蒲生蒲生野487番地1
京丹波町図書館瑞穂分館	京丹波町大朴乗次1番地
京丹波町図書館和知分館	京丹波町本庄花ノ木1番地4

(管理)

第3条 図書館は、京丹波町教育委員会（以下「教育委員会」という。）が管理する。

(職員)

第4条 図書館に館長その他必要な職員を置く。

(図書館協議会)

第5条 図書館の管理及び運営に関する事項を協議するため図書館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員（以下「委員」という。）は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が任命する。

3 委員の定数は、10人以内とする。

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委任)

第6条 この条例に定めるもののほか、図書館の管理及び運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

(2) 京丹波町図書館管理運営規則

令和5年3月22日
教育委員会規則第1号

(趣旨)

第1条 この規則は、京丹波町図書館条例（令和5年京丹波町条例第3号）第6条の規定に基づき、京丹波町図書館（以下「図書館」という。）の管理及び運営について必要な事項を定める。

(図書館協議会)

第2条 図書館協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選により選出するものとし、その任期は、委員の任期による。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を総務する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。
- 5 協議会は、会長が招集し、会長が議長となる。
- 6 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことはできない。
- 7 協議会の庶務は、図書館において行う。

(開館時間及び休館日)

第3条 図書館の開館時間及び休館日は、別表のとおりとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、館長が必要と認めるときは、これを変更することができる。

(利用の制限)

第4条 館長は、次の各号のいずれかに該当する者について、入館を拒否し、又は退館を命ずることができる。ただし、京丹波町図書館中央館出張所（サテライトこだち）（以下「サテライトこだち」という。）の利用制限については、京丹波町本庁舎交流スペースの使用に関する要綱（令和3年京丹波町告示第75号）第11条に規定するところによる。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがある者
- (2) 酒気を帯びた者
- (3) 感染症の疾病にかかっていると認められる者
- (4) 前各号に掲げるもののほか、館長が管理上支障があると認める者

(貸し出しの制限)

第5条 次の各号に該当する図書館資料は、貸出しをしない。ただし、館長が特に必要であると認めたときは、この限りでない。

- (1) 貴重な図書館資料及び郷土資料
- (2) 辞典、事典、年鑑その他これらに類する資料
- (3) 前各号に掲げるもののほか、館長が貸し出しを不相当と認める資料

(弁償)

第6条 図書館資料及び図書館が貸与する器物等（以下「図書館資料等」という。）を亡失し、又は汚損した者は、現品又は相当の対価をもって弁償しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、京丹波町教育委員会がやむを得ない理由があると認めるときは、弁償額の全部又は一部を免除することができる。

3 第1項の規定により弁償をすることとなった者は、その弁償が終わるまでは、図書館資料を利用することができない。

（館内秩序）

第7条 図書館を利用する者は、次に掲げる事項を守らなければならない。ただし、サテライトこだちの館内秩序にあっては、第2号を除き、京丹波町本庁舎交流スペースの使用に関する要綱第14条に規定するところによる。

（1） 施設及び設備の保全に努めること。

（2） 図書館資料等を大切に扱い、定められた場所以外では利用しないこと。

（3） 声高による談話及び放歌等により他の利用者に迷惑を与えないこと。

（4） 定められた場所以外で喫煙、飲食等をしないこと。

（5） 前各号に掲げるもののほか、管理運営上必要な館長の指示する事項

（利用）

第8条 図書館資料等を利用しようとする者は、別に定める手続によらなければならない。

（貸出の停止）

第9条 館長は、図書館資料を貸出期間内に返却しなかった者に対し、一定期間図書館資料の貸出しを停止することができる。

（複写）

第10条 利用者は、著作権法（昭和45年法律第48号）に規定する範囲内において、図書館資料の複写（以下「複写」という。）を行うことができる。この場合において、著作権法の責任は、利用者が負わなければならない。

2 複写に係る実費相当額は、利用者の負担とする。

3 複写を希望する者は、館長の承認を受けなければならない。

4 館長は、複写を不適當と認めたときは、これを制限し、又は禁止することができる。

（寄贈及び寄託）

第11条 図書館資料の寄贈及び寄託をしようとする者は、別に定める手続によらなければならない。

2 図書館資料の寄贈に要する経費は、寄贈者の負担とする。ただし、事情により特に図書館が負担することができる。

3 図書館は、寄贈された図書館資料をやむを得ない事由により滅失若しくは紛失し、又は汚損若しくは破損したときは、その責めを負わない。

（閲覧所）

第12条 図書館は、必要に応じ館外に臨時閲覧所を設置することができる。

(その他)

第13条 この規則に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、令和5年4月1日から施行する。

別表(第3条関係)

名称	開館時間	休館日
京丹波町図書館中央館	9時から17時まで	月、日曜日、祝日及び12月28日から翌年の1月4日まで
京丹波町図書館中央館出張所 (サテライトこだち)	火、水、金曜日 9時から19時まで 木、土、日曜日 9時から17時まで	月、祝日及び12月28日から翌年の1月4日まで
京丹波町図書館瑞穂分館	9時から17時まで	月、日曜日、祝日及び12月28日から翌年の1月4日まで
京丹波町図書館和知分館	10時から18時まで	月、日曜日、祝日及び12月28日から翌年の1月4日まで

(3) 京丹波町図書館運営方針

1. これまでのあゆみ

京丹波町は平成17年に、丹波町、瑞穂町、和知町の3町が合併して誕生しました。3町ともに公共図書館はなく、公民館の図書室で地域の住民向けに貸本を行っていました。旧丹波町、旧和知町には、それぞれ公民館が1館ずつあり、旧瑞穂町には公民館が集落ごとに計4館あり、3町が合併してからは、合計6つの公民館図書室をそれぞれ独立した図書室として運営していました。

それぞれの公民館図書室の蔵書もそれぞれ異なる形式で管理していましたが、町内の図書室間で蔵書を相互貸借し、資料購入費を効率的に使えるようにするために、令和2年度に、全図書室の蔵書をオンライン化し、管理方法を統一しました。

蔵書のオンライン化と並行して、令和3年11月に開庁した新しい庁舎の一角に、図書コーナーが設置されることとなり、計7拠点となる図書拠点を公民館図書室職員全員で組織的に管理することが決まり、「京丹波町どこでも図書館構想」を掲げて「図書館サービス」の拡充を図ってまいりました。

2. 策定の趣旨

京丹波町では、図書館サービスへの町民からの期待の高まりを受けて、令和5年4月に京丹波町図書館条例を施行し、公民館の図書室としての運営から、公民館とは別の新たな教育施設として、京丹波町図書館を運営することとなりました。

「京丹波町図書館の基本的運営方針」は「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（平成24年文部省告示）に基づき、京丹波町図書館の役割、運営の方向性を明確にするために策定するものです。

3. 位置づけ

第2次京丹波町総合計画（後期基本計画）及び京丹波町教育振興基本計画を上位計画とし、平成18年9月に策定された「京丹波子ども読書活動推進計画」を継承し、令和2年3月に策定された「京都府子どもの読書活動推進計画（第四次推進計画）」も踏まえて、網羅的に策定するものです。

上位計画である総合計画や教育振興基本計画の見直しなどにより必要な場合は適宜見直しを行います。

4. 基本理念

学びを支え、未来をひらく、みんなに身近な「どこでも図書館」

古来より、人が自主的・主体的に学ぶ最も一般的な方法のひとつは、本から学ぶことであ

り、図書館は、人が「いつでも、どこでも、だれでも、自由に」本から学ぶことができる社会教育施設です。人びとの「知りたい」「楽しみたい」「学びたい」「悩みを解決したい」といった学びの種をひろい、資料や情報、考える材料、調べる方法などを提供することで、主体的な学びを支援します。

このような暮らしの中での自主的な学びを重ねて、住民一人ひとりが生きがいを持ち、心豊かで健康な生活が送れることが、個人の未来をひらくことにつながり、ひいては町の未来をひらくことにつながります。

また、図書館は一部の使い慣れた方のためだけにあるものではありません。全ての人が必要な時に利用できるように、暮らしに寄り添い、全ての人にとって身近にあることが「あたりまえ」である図書館を目指します。

5. 基本的運営方針について

基本理念の実現及び、現在の課題や世の中の動向を踏まえ、以下の基本的運営方針のもと、京丹波町図書館の取り組みを進めてまいります。

- (1) いつでも、どこでも、だれでも利用できる仕組み作りに努めます。
- (2) 子どもをはじめ、すべての人に読書の楽しみを広げる活動を行います。
- (3) 読書活動を推進するために、学校、地域、その他外部組織と積極的に連携します。
- (4) 地域の課題解決を支える拠点として、町民のニーズに対応した情報を発信します。
- (5) 地域の交流拠点として、人と本、人と情報、人と人の出会いを支援します。
- (6) 地域の資料や情報を保存・発信し、町の未来を提案します。
- (7) 生涯学習の拠点として多様な資料・情報の収集、整理、保存および、他図書館との連携に努めます。

(4) 京丹波町図書館事業計画

○基本理念

学びを支え、未来をひらく、みんなに身近な「どこでも図書館」

○基本的運営方針

- (1) いつでも、どこでも、だれでも利用できる仕組み作りに努めます。
- (2) 子どもをはじめ、すべての人に読書の楽しみを広げる活動を行います。
- (3) 読書活動を推進するために、学校、地域、その他外部組織と積極的に連携します。
- (4) 地域の課題解決を支える拠点として、町民のニーズに対応した情報を発信します。
- (5) 地域の交流拠点として、人と本、人と情報、人と人の出会いを支援します。
- (6) 地域の資料や情報を保存・発信し、町の未来を提案します。
- (7) 生涯学習の拠点として多様な資料・情報の収集、整理、保存および、他図書館との連携に努めます。

1. 計画策定の趣旨

京丹波町図書館の基本的運営方針に則り、図書館運営を進めていくための具体的な施策を示すものです。

2. 計画期間

第2次京丹波町総合計画（後期基本計画）及び京丹波町教育振興基本計画の計画期間に合わせ、京丹波町図書館条例が施行された令和5年度から令和8年度までの4年間とします。

3. 事業計画

(1) いつでも、どこでも、だれでも利用できる仕組み作りに努めます。

- より多くの住民の皆さまの生活動線上に拠点を置くために、中央館に加えて、2つの地域館、役場交流ラウンジの出張所を運営します。
- 各拠点は、それぞれの役割や利用者のニーズに応じて開館時間を柔軟に設定します。
- 誰でもが快適に過ごせるように、安心・安全で快適な館内環境を整えます。
- 町独自の蔵書検索・予約・取り寄せサイト「ほんサーチ」を中心として、Webサービスに取り組みます。
- 読書バリアフリー法の理念を具現化することに努め、誰にでも利用しやすい図書館を目指します。
- 移動図書館車を活用し、図書館サービスを提供する拠点の拡充に努めます。
- 移動手段のない方向けに、予約による戸別訪問を実施します。

(2) 子どもをはじめ、すべての人に読書の楽しみを広げる活動を行います。

- 図書館に来てもらうきっかけ作りとして、「ちいさいこのおはなし会」「おはなし会」「音読の会」「読み聞かせボランティア勉強会」「自習イベント」「ブックトークイベント」「本と音楽のコラボイベント」「作家公演会」「折り紙イベント」「工作イベント」「大人のものづくりイベント」など、様々な世代に向けた各種イベントを実施します。
- 地域のイベントに移動図書館車で参加するなど、図書館サービスにふれてもらうための館外活動を積極的に取り入れます。
- 新刊情報誌や子供向け図書だよりなど、各種定期発行物を配布することにより、積極的な情報発信を行います。
- 自主放送番組や、町広報誌、イベントでの広報活動など、様々な機会やツールを活用して読書の楽しみを発信します。
- 読書記録の楽しみを発信するために、読書手帳を提供します。
- スタンプカードや啓発物品を通して、読書の動機づけを支援します。

(3) 読書活動を推進するために、学校、地域、その他外部組織と積極的に連携します。

- 移動図書館車での訪問や、学級文庫貸出、調べる学習支援、図書室運営に係る研修・見学の受け入れ、セカンドブックなどを実施し、学校との連携を強化します。
- 町内のこども園に移動図書館車で訪問し、おはなし会等を開催するほか、見学の受け入れや団体貸出による蔵書支援を実施します。
- 学童保育に定期的に本を貸し出すなど、図書館サービスを提供します。
- 子育て支援センターのイベントで本の貸出やおはなし会を行うほか、団体貸出による蔵書支援を実施します。
- ブックスタートや乳幼児健診での読書推進活動を実施します。
- 読み聞かせボランティア勉強会を開催し、情報交換や人材育成に努めます。
- 他課と積極的に連携を図り、町の取り組みの様々な場面で情報発信や読書活動の推進に努めます。
- 公民館、地域サロン、その他様々な組織・団体と積極的に連携し、図書館サービスを提供する機会を創出します。

(4) 地域の課題解決を支える拠点として、町民のニーズに対応した情報を発信します。

- 農林業など地域の特色に対応する資料を収集・提供し、情報発信します。
- その他、地域の課題や町民のニーズを能動的に収集し、企画展示などさまざまな方法で情報発信し、課題解決支援サービスの充実をはかります。
- 庁内各課の行政課題の解決や、職員のスキルアップを目的とした行政支援に取り組みます。

- (5) **地域の交流拠点として、人と本、人と情報、人と人の出会いを支援します。**
- 企画展示やレファレンスを通して本と出会う機会を提供します。
 - 目的別のブックリスト等を作成・配布し、本と出会う機会を提供します。
 - レファレンス等を通して情報を収集・蓄積し、提供できる仕組みづくりに努めます。
 - イベントの開催や積極的な声掛けを通して、人と人が出会う機会を作ります。
- (6) **地域の資料や情報を保存・発信し、町の未来を提案します。**
- 地域に係る資料や郷土資料を積極的に収集・保存・提供・発信します。
 - 図書館職員のレファレンス技術の向上に取り組み、レファレンスサービスの充実をはかります。
 - まちづくりを考える拠点として、資料や情報を収集し、提供します。
 - 町内だけでなく町外の方にも魅力を感じてもらえる図書館を目指し、移住定住促進の一助を担います。
- (7) **生涯学習の拠点として多様な資料・情報の収集、整理、保存および、他図書館との連携に努めます。**
- 資料収集方針、選書基準の策定と見直しを行います。
 - 資料の適切な管理と更新に努めます。
 - 生涯学習のための資料や情報を収集し、提供できる仕組みづくりに努めます。
 - 雑誌スポンサー制度を活用し、雑誌の充実に努めます。
 - 国立国会図書館のサービスや京都府内相互貸借などを積極的に活用し、提供できる図書サービスの充実に努めます。

移動図書館車がまちを走り、本との出会いを育む。京丹波町図書館の「めばえ号」は、こども園や介護施設への定期訪問を、この1年で新たにスタートさせた。乳幼児からお年寄りまで、全世代の町民に読書に親しんでもらいたい。そんな思いで、訪問先や活動の場を広げていく。

本と出会い育む 移動図書館車

京丹波のまち走り こども園・介護施設 定期訪問

全世代読書親しんで
活動の場広げる



迎えに来た保護者と一緒に本を選ぶ園児
(京丹波町和田・みずほこども園)



移動図書館車の本棚から読みたい本を探す
高齢者たち(京丹波町蒲生・丹波高原荘)

京丹波町は、町内の読書環境の向上や均一化を目指す「こども図書館構想」を掲げ、2021年11月に「めばえ号」を導入した。軽トラックの荷台に設置した本棚に最大500冊を積み、新しい本が少なかった当時の公民館図書室をはじめ、乳幼児健診会場、小学校などを依頼に応じて巡っていた。同町蒲生の特別養護老人ホーム「丹波高原荘」には昨年11月から定期訪問を続ける。車には施設利用者のリクエスに合わせた本を載せる。ディスプレイの利用者だけでなく、施設から出かけにくい高齢者も借りることができる。施設で暮らす森口昌子さん(89)は「テレビだけでなく、本も読みたい。脳トレにもなるし、次回借りるのが楽しみ」と喜ぶ。

同町和田のみずほこども園にも今年4月から訪れている。本に触れ合う機会を増やすと同園が定めた「絵本の日」に合わせ、月1回、玄関前で貸し出しをする。帰宅時間の午後4時過ぎ、めばえ号の周りには保護者の手を引いて本を探す園児にぎわい、貸し出しカウンターには行列ができた。

本を借りた駒井将くん(4)は「一車と本が大好き。救急車の本もあった」と笑顔を見せた。

大塚正広館長は「自分の意志で出かけるのが難しい高齢者や幼い子どもたちにも、移動図書館を通して本と出会ってもらいたい」と話す。

(町塚葵)

本との出会い 工夫凝らす

京丹波町「図書館」誕生1年



図書館利用者のお薦め本を手書きポップと一緒に並べた「みんなで作る本棚」のコーナー(京丹波町大朴・町図書館瑞穂分館)

京丹波町に「図書館」ができて1年になる。町内7カ所にあつた公民館図書室を再編し、本館や分館など4カ所の図書館として昨春始動した。それぞれの特徴を前面に出し、新企画もスタート。本との出会いを広げようと工夫を凝らす。

4カ所それぞれ特徴生かす 手書き紹介文など新企画も

「みんなで作る本棚」。そんな新企画が今春始まった。発案したのは、タツフの竹内裕美さん(44)。図書館の利用者が本を返す時、カウンター越しに感想を聞かせてもらうことが多

かった。「自分一人が聞くのではもったいない。いろんな人も共有し、おすすめし合えないか」と考えた。表紙が見える書架に利用者のお薦め本を並べ、コメントを手書きポップにして付けた。



「読み終わった後に、心がほんわか温かくなる。」「子どもが面白く、とおすめししています。」「表紙を見たい。この本が読みたいたい。」「...」

知の分館に続き、町中へ。中央公民館2階の中央館で7月未だ続けてい



瑞穂分館横の芝生広場で初めて開かれた「青空おはなし会」

導入、国立国会図書館から、幅広い年代の人たちが言葉を寄せる。自分の紹介文を見つけて記念写真を撮る親子や、紹介した本が誰かに借りられていることを喜び利用している。「本を紹介して人と人がつながる場を作りたい」と竹内さん。瑞穂や和

木を、さらに高めていきたい」と語る。木の遊具や絵本を集めた「木育ひろば」が

生広場を活用し、新たな催し「青空おはなし会」を5月に始めた。同町の薬師川緑さん(31)は息子の歩くん(2)と訪れ、「おはなしを聞いてくれるか心配だったけれど、屋外なのでのびのび過ごせる」と楽しんだ。

館ごとの特徴もある。中でも2022年に建てられた京丹波町役場の「こたろ図書館」は、中央館の出張所として、中央館の出版所という位置づけだが、貸出し数が多い。木目調の空間にカフェベニューを備え、新たな利用者をつつんだ。瑞穂分館では隣の芝

近くにあった図書室が再編でなくなった地域への配慮も欠かせない。町では、読書環境の向上や均一化を目指す「どこでも図書館構想」を掲げ、移動図書館車の派遣を進める。

丹波・和知・瑞穂の3町が合併し、京丹波町ができて来年で20年。財政規模は小さいながらも、図書館が利用者との距離を縮めようとする進化を続けている。この夏、足を運んでみてはいかがだろうか。(町塚葵)

ジャズと朗読 楽しむ

住民ら「生演奏、素晴らしい」

京丹波

地元出身の音楽家に「役場の交流ラウンジ」によるジャズの生演奏と文学作品の朗読を楽しむ京丹波町図書館主催のイベント「Jazzと朗読のゆうべ」が町



図書館スタッフの朗読に合わせ、ジャズを奏でるアーティストたち(京丹波町役場)

瑞穂地域出身のジャズ奏者谷田幸郎さんら3人の演奏家が7月26日に出演。地域住民ら

120人が集まった。3人は図書館スタッフによる朗読に合わせ、コントラバスやバイオリン、キーボードなどで落ち着いたジャズ演奏を披露。宮沢賢治「双子の星」の朗読にはロベルト・シューマン「トロイメライ」を合わせ、幻想的な物語の雰囲気を高めた。映画「サウンド・オブ・ミュージック」の「My Favorite Things」や、MISIAの「Everything」の演奏もあった。家族や友人と訪れた池端尚子さん(84)は「町内でジャズを生で聴く機会は無いので素晴らしい。今後は歌の生演奏も聞いてみたい」と楽しんでいた。(町塚葵)

方丈記 読み解こう

京丹波で9日講演会

大福光寺に写本 価値知る機会に

日本三大随筆の一つ・鴨長明の「方丈記」を読み解く講演会が9日、京丹波町役場で開かれる。地元の大福光寺(同町下山)に方丈記写本(重要文化財)が所蔵されている縁を踏まえ、同町図書館が主催する。「町内の文化財や歴史的価値を知ってもらう機会

に」と采場を呼びかける。11月1日の「古典の日」にちなみ、同館が開館1周年の記念事業として企画。講師にはテレビやラジオで方丈記を解説する京都産業大の小林一彦教授(中世文学)を迎える。方丈記は、平安から鎌倉にかけての天災や

飢饉の記録が、作者自身の体験とあわせて詳細に記されている。大塚正広館長は「感染症の流行や度重なる地震、水害など、現代に通ずる部分も多い。長明の生き方に学び、文化財への理解を深める機会になれば」と話す。

町役場1階には写本の写しのほか、大福光寺や長明に関する資料、関連書籍を特別展示している。12日まで。講演会は9日午後1時半から。入場無料。町内外問わず誰でも参加可。事前申し込み不要。詳細は図書館0771(82)3850へ。(町塚葵)



大福光寺や方丈記写本に関する特別展示 (京丹波町役場)

小中高生応募作104点展示

京丹波町図書館の本で調べた学習コン



図書館の本を使って模造紙や冊子にまとめた作品が並んだ会場(京丹波町役場)

京丹波町図書館の本でなく、本に触れる機会を使って町内の小中高生が取り組んだ調べ学習のコンクール「しらべてカッテン!」の作品展が町役場で開かれています。農作物の育て方や、身近な疑問を調べた入賞作品など、計104点の応募作品が展示されています。インターネットだけける点を挿絵付きで解

小学生の部・最優秀 畑中さん(瑞穂小5年)



野菜の育て方を図鑑風にまとめ、最優秀の教育長賞を受けた畑中さんの作品

中学生の部は、苦手を野菜と豆腐を克服しよつとレシを調べた瑞穂中3年の竹村優那さん。高校生の部は、食品包装の種類や技術を調べた須知高1年の湊楓華さんが選ばれた。展示は24日まで。午前8時半~午後8時。(町塚葵)

このほか入賞者は次のみさん。
【図書館長賞】大槻美織(下山小3年)▽村山向日葵(備生野中2年)▽鈴木美結(須知高2年)【奨励賞】藤山英吾(和知小1年)▽坂慶太郎(同3年)▽伴田裕晴(瑞穂小3年)▽上田桜大(同3年)

道の駅「丹波マーケス」図書館や子育て支援施設の機能移転へ検討に入る(京丹波町須知)



町図書館 マーケスに移転検討

京丹波町は、道の駅「丹波マーケス」(須知)内に、町図書館中央館や子育て支援施設の機能を移す方向で検討に入る。2025年度の一般会計当初予算案に、調査費として910万円を計上した。

調査費910万円 子育て施設も

京丹波町の中央公民館(蒲生)には現在、町図書館中央館や木の遊具や絵本を集めた「木育ひろば」がある。建物は1974年に建てられており、耐震性に課題がある一方、新施設を建てるには費用負担が重かった。

町は、マーケスなど既存施設を活用し機能を移せないか、検

討チームを昨年末に立ち上げた。マーケスを運営する第三セクター・丹波地域開発とも意見交換を進めている。

(町塚葵)

京丹波の民話紙芝居で次代へ

和知太鼓の起源を描いた紙芝居の披露に向けて稽古する
(左から)出野さん、小川さん、いしださん、侘嶋さん
—京丹波町篠原・和知太鼓練習場



住民ら「和知太鼓」起源など2作品

郷土の民話を、紙芝居に仕立てて伝承する一。京丹波町や地元の住民が、そんな活動に力を入れ始めた。今年、地元の伝統芸能「和知太鼓」の起源と、ツバキの木をめぐる下山地域の伝説を基にした2作品を作った。和知ふれあいセンター（京丹波町本庄）で20日に初披露する。

〈呑香童子討伐のため都から大江山へ向かっていた源頼光が、藤森神社（現京丹波町広野）に立ち寄った。村人たちは太鼓演奏で頼光らを鼓舞

し…〉

2作品の一つ「夏艸丹ノ国噺」は、和知太鼓の起源を描く。民話を基に、地元の伝統芸能「和知人形浄瑠璃」が人形浄瑠璃として2003年に初演。ただ、長編で担い手も減り、上演が途絶えていた。

今回、その浄瑠璃を基に、創作紙芝居師の小川よしのりさん（38）一同町口八田一が紙芝居向けの脚本を作った。

上演時間は30分。小川さんが紙芝居を語り進めると、和知太鼓保存会の出野凛さん

(46)が打つ和太鼓やしの笛、三味線の生演奏が加わる。音楽作家の侘嶋草賢さんによる音響もあり、臨場感が高まる。

もう一作の「尾長野の椿さん」は、歯の痛みを治すツバキの木と落武者の物語を描く。子どもたちにも親しみやすいキャラクターを新たに登場させるなど、工夫を凝らした。

どちらも紙芝居の絵は、和知地域出身のいしださなさん（22）—南丹市日吉町一が描いた。「夏艸一」は太鼓を打つ村人や頼光ら武将を勇ましく、「尾長野一」では物語に合わせてかわいらしく描き分けたという。「作品を通じて初めて知ったこともある。物語を形に残すことができうれしい」とほほ笑む。

町は今後、1年に2作ほどのペースで民話の紙芝居化を目指す。

小川さんは「紙芝居は、伝承や芸能をかみ砕いて分かりやすく伝えられる。古き良き文化を未来につなぐ存在になりたい」と話す。

20日の披露は町図書館2周年記念事業「郷土民話×紙芝居 音楽と共に」と題して午後1時半開演。無料。問い合わせは町図書館0771(82)0255。

(町塚葵)